

## 令和4年度 部活動 活動結果

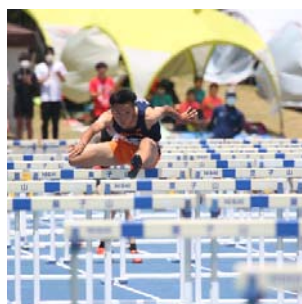
春季総合体育大会の結果(文化部は大会の結果)をお知らせします。

### 運動部

#### 陸上競技部

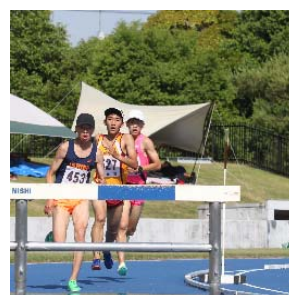
##### 結果

- ◎男 110mH 東山 結心(3年)第2位
  - ◎男 5000m 風口 奏楽(3年)第5位
  - ◎男 3000mSC 風口 奏楽(3年)第1位
  - ◎女 400m 福林 愛理(3年)第5位
  - ◎女走幅跳 吉田 萌杏(3年)第6位
  - ◎女ハンマー 山中 奈々(2年)第4位
  - ◎男 4×100mR 加納②-江川③-井川②-進藤② 第6位
  - ◎女 4×400mR 福林③-吉田③-内田③-高井③ 第6位
- 以上 8 種目、16 名(リレー補欠含)が近畿高校総合体育大会に出場した。



近畿高校総合体育大会(6月16日~19日:ロートフィールド奈良)

- ◎男 110mH 東山 結心(3年)準決勝敗退
- ◎男 5000m 風口 奏楽(3年)第35位
- ◎男 3000mSC 風口 奏楽(3年)予選敗退
- ◎女 400m 福林 愛理(3年)予選敗退
- ◎女走幅跳 吉田 萌杏(3年)予選敗退
- ◎女ハンマー 山中 奈々(2年)決勝17位
- ◎男 4×100mR 加納②-江川③-井川②-進藤② 予選敗退
- ◎女 4×400mR 福林③-吉田③-内田③-高井③ 予選敗退



##### 講評

今年度から新体制となった中で出場した滋賀県春季総体では、決勝で6位までが全国インターハイへの出場権を得られる近畿大会に出場できるが、決勝で7位という悔しい結果に終わった種目もあった。

(顧問より)

## バドミントン部

### 結果

個人戦:初戦敗退

団体戦:VS 八幡 (1-4)負け

### 講評

3年生最後の大会ということもあり、どの学校もいままでにない熱の入りようで、白熱した試合ばかりだった。本校の選手達も最後の最後まで勝敗がどちらに転ぶか分からない接戦を繰り広げていた。

結果は初戦敗退であったが、今までで一番の試合内容だった。3年

間の積み重ねをしっかりと発揮できた大会だった。また後輩達も、今自分たちにできることを精一杯できた。チームとして戦えた総体となった。

(顧問より)



## 卓球部

### 結果

学校対抗戦(団体戦)石部 - 玉川 0-3で敗退(1回戦)

### シングルス

高見将矢 2回戦敗退

近藤敬生 1回戦敗退

三浦巨雄 2回戦敗退

森嶋快斗 3回戦敗退

山本智尋 2回戦敗退

安達康介 1回戦敗退

### ダブルス

三浦・山本 2回戦敗退

安達・近藤 2回戦敗退

高見・森嶋 2回戦敗退

### 講評

全体的に本来の力を発揮することができなかった。シングルス・ダブルス・団体戦のいずれの試合でも緊張している様子だった。1年前に比べると、技術は身に付きつつあるので、普段の練習で取り組んでいることを試合で活かしてほしい。3年生についてはこれで引退となるが、卓球というスポーツに限らず、入部当初にできなかったことが少しずつできるようになっている様子を垣間見ることができたことが何よりの収穫である。

(顧問より)



## バスケットボール部 男子

結果 1回戦敗退

石部		膳所
55	$\left[ \begin{array}{l} 7 - 40 \\ 8 - 21 \\ 16 - 22 \\ 24 - 14 \end{array} \right]$	97

講評

昨年の春季総体にて3位で近畿大会に出場していた膳所高校との対戦であった。序盤から相手のプレッシャーに押され得点できない時間が続く。シュートまでいけず、膳所高校のペースで試合が進んだ。後半は相手のプレッシャーに慣れ、徐々に良いプレーがみられた。

3年生にとっては冬の県体がなかったため、久しぶりの公式戦。1年生は高校初めての公式戦であった。常に劣勢にあるゲーム内容であったが、チームを励ます声が出続けており、今後の成長を期待させる。3年生の引退試合となる秋季大会に向けて準備を進めていきたい。

(顧問より)



## バスケットボール部 女子

結果 2回戦

石部		日野
32	$\left[ \begin{array}{l} 7 - 7 \\ 11 - 7 \\ 10 - 9 \\ 4 - 11 \end{array} \right]$	34

講評

コロナ禍の影響で練習試合など実践的な練習ができないという厳しいチーム事情で、大会を迎えることとなった。全体的に両チームともシュートの精度を欠き、ロースコアの展開となる。石部の攻撃パターンが機能する場面もあったが、つまらないミスが目立ち、一進一退の状況が続く。第3Qまで石部が僅差のリードで試合が進むが、最終Qで相手チームの追い上げに対する焦りから、ミスが目立ちはじめ、その隙をつかれて、逆転を許してしまった。結果論になるが、あの場面で、あの1本を決めていれば、結果は変わっていたかもしれないという、悔しい試合となった。

今回の敗戦を糧に、次の試合でのさらなる成長に期待したい。

(顧問より)



## バレーボール部 女子

結果	予選リーグ戦		決勝トーナメント戦		
	石部・甲南合同	膳所	石部・甲南合同	比叡山	
2	$\begin{bmatrix} 29 - 27 \\ 25 - 27 \\ 25 - 23 \end{bmatrix}$	1	0	$\begin{bmatrix} 9 - 25 \\ 10 - 25 \end{bmatrix}$	2

### 講評

本大会は甲南高等学校と合同チームで出場し、個性のある攻め方とレシーブ力で勝負した。予選リーグの膳所戦では、小さなミスが目立ったものの、繋ぎとレシーブで粘り、キャプテンの試合を決定づけるスパイクで勝ち進んだ。決勝トーナメントの比叡山戦では、相手のレシーブシステムが固く、思うように攻撃ができない迷いからミスが目立ち、自分たちのペースで試合を運ぶことができなかった。

3年生は今大会で引退となったが、初めてチームが一体感を持ってプレーすることができた。また、スパイクでチームを引っ張った3年生キャプテンの成長に嬉しさを感じた。下級生たちは今大会で得た経験から、「一心同体」をチームの目標として掲げ、秋の大会に向けて練習に励んでいる。石部バレー部をより進化させていってほしい。(顧問より)



## テニス部 男子

### 結果

#### 男子シングルス予選

高井 健人 1回戦 対 米原 1-6 敗退

坂 孝洋 1回戦 対 八日市南 6-3 勝利

予選決勝 対 日野 2-6 敗退

#### 男子ダブルス予選

高井・坂 1回戦 対 立命館守山 6-7 敗退

### 講評

他校の選手は主に2、3年生が出場している中、高校生から硬式テニスを始めた本校部員だったが、非常に善戦していた。技術面においてはまだまだ粗削りな面が目立ったが、今後の成長に期待できる大会だった。シングルス・ダブルスともに、本選出場を目標に今後も頑張ってもらいたい。(顧問より)

## テニス部 女子

### 結果

#### 女子シングルス予選

柏原 舞花 1回戦 対 守山北 0-6 敗退

小谷 姫菜 1回戦 対 米原 0-6 敗退

黒木 知峰 1回戦 対 立命館守山 5-7 敗退

### 講評

高校生になって初めての大会だったので、無事に大会を終えることを目標にしていた。勝利はできなかったが、他校の部活動の雰囲気や大会へのモチベーションなど、技術面以外にも多くのものを学ぶことができた大会だった。今後の部活動では、初戦勝利を目指して少しずつステップアップをしていきたい。

(顧問より)

## 硬式野球部

### 令和4年度 春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

1回戦 対栗東高校 12-3 7回コールド勝ち

### 講評

2回裏、四死球とバッテリーミスで2死2・3塁のチャンスを作ると、9番島田(2-3)がライト線にツーベースヒットを打ち、2点を先制する。4回にも4番茂田(3-3)の走者一掃のタイムリーツーベースなどで7-0とリードを広げた。投げては先発の古賀(3-1)が7回3失点の好投を見せ、自らのタイムリーで勝負を決めた。

2回戦 対彦根翔西館高校 3-10 負け

### 講評

試合序盤から相手打線にチャンスを作られるも、先発の古賀が粘り、大量失点は防ぐ。しかし、じわじわりリードを広げられる苦しい展開となった。打線は5回、内野ゴロの間に1点を返すと、続く6回には4番茂田のタイムリーや途中からマウンドに上がり好投を見せた尾曲(2-1)がスクイズを決めるなど、7回終了時点で3-7と簡単に勝負を決めさせない粘り強さが見られた。

最終的に7点差をつけられての敗戦となったが、公立校で毎年安定した成績を残している学校と最後まで試合をすることができ、秋季大会のコールド負けから成長した姿が見られた。大会後には本格的に1年生がチームに加わり、ますます成長したチームで集大成である夏の大会に臨みたい。(顧問より)

## 文化部

### 吹奏楽部

#### 第60回滋賀県吹奏楽祭

##### 結果

賞のつく大会ではない。また、近畿総文出場選考へのエントリーを今回はしていないので選考もない。

現3年生が入学して初めての、一般公開・通常開催の吹奏楽祭であった。1年生が入学しての新チームの初めてのステージ、石部らしい華やかな演奏ができたと思う。他校の先生方からは、明るいサウンドで十分に楽器が鳴っていてよかった、何より楽しそうだったとコメントをいただいた。

例年であれば近畿高等学校総合文化祭出場校の選考があるが、今年度は近畿総文が滋賀県開催なので何ものなし。

##### 講評

新型コロナウイルス感染対策のため、演奏時間5分・前後の団体との時差5分ずつのタイムテーブル、無観客・椅子及び打楽器配置固定・舞台入場前に全員手指消毒を行うことを徹底しながら開催された。

本校の出演順は後ろから2番目と遅かったが、それぞれが上手くピークを本番に合わせることができた。曲目はマイケル・ブラウン編曲の「ディズニーランド50周年セレブレーション」。前後はそれぞれ50名を超える大編成の学校であったが、決して聞き劣りしない好演であったと思う。

(顧問より)

### 放送部

#### 第69回NHK杯 全国放送コンテスト 滋賀県大会

##### 結果

3年 蘆田光依 アナウンス部門 優秀賞 全国大会進出

1年 2名 朗読部門 参加

##### 講評

3年 石部高等学校の「パン販売」を題材にした内容で記事の構成も良く、読み方も綺麗であった。

1年(2名)朗読部門で頑張った。声がよいので、これからの練習で伸びしろも大きい。楽しみな1年生である。

(顧問より)